

接遇等市民サービスの改善の成果の事例

【こども若者局】

施設名	改善項目	改善の成果	実施時期
<p>仙台市子育てふれあいプラザ のびすく泉中央</p>	<p>ひろばに掲示してある職員紹介で、どのスタッフが保育士やNoKoCo(相談員)かが分かるという。</p>	<p>掲示用の職員紹介でスタッフが保育士やNoKoCo(相談員)だと分かるよう作成し掲示した。</p>	<p>令和6年4月～</p>
<p>仙台市子育てふれあいプラザ のびすく泉中央</p>	<p>サークルの作り方が分かるよう、もっと情報発信してほしい。</p>	<p>のびすく泉中央でサークルが作れて活動できることを、ひろば内に掲示し発信していく。</p>	<p>令和6年4月～</p>
<p>子育てふれあいプラザ のびすく長町南</p>	<p>コロナが第5類になり、食事スペースの時間を決めて開放。イベント等で開放時間が異なるのをわかりやすく掲示した。</p>	<p>玄関やひろばへ入るゲート等に掲示したところ、開放時間の周知が広まりばくもぐルームの利用者が増えた。</p>	<p>令和5年5月</p>



接遇等市民サービスの改善の成果の事例

【こども若者局】

施設名	改善項目	改善の成果	実施時期
子育てふれあいプラザ のびすく長町南	食事スペースを利用する際、こども用のイスを貸し出ししているが、お座りが安定していない子向けの「バンボ」というイスが1つしかなく利用者のニーズに応えられなかったため追加購入した。	<p>乳児の利用も増えたため、とても好評。すっぽり足が入るタイプなので抜け出すことなく落ち着いて食事がとれている様子。</p> 	令和5年7月
子育てふれあいプラザ のびすく長町南	利用者の増加と共に、年齢の高い子の利用も増えた。 幼稚園が夏休みに入る前に、3歳以上の子どもも楽しめるおもちゃを購入した。	<p>3歳以上の子が来館しても、遊べるおもちゃがあるので過ごしやすいとの声があった。</p> 	令和5年7月

接遇等市民サービスの改善の成果の事例

【こども若者局】

施設名	改善項目	改善の成果	実施時期
子育てふれあいプラザ のびすく長町南	授乳中に他児が入って来てカーテンを閉めずに出て行ってしまったと、利用者から意見があった。授乳中のため閉めに行くこともできず困ったとのこと。 二重になっているカーテンの外側を開け放しにならないよう閉めきりにした。	カーテンを閉めきりにしてからは、利用者から授乳室での困ったお話はなく、ゆっくり授乳できている様子。 	令和5年12月
幸町南児童館 ※特定非営利活動法人 MIYAGI子どもネットワーク が運営	・館内の換気の仕方が、開館時に窓を開けて閉館時に閉める形式だったが、1時間ごとに5～10分間ずつ窓を開ける形式にした。	・漠然と換気しているよりも、定期的に職員が窓を開閉して回することで、利用者に安心感を与えることができた。 ・換気のため館内を回ることにより、以前よりも利用者とのコミュニケーションを取る機会が増えた。	令和6年1月
原町児童館 (のびすく宮城野) ※特定非営利活動法人 MIYAGI子どもネットワーク が運営	乳幼児保護者より「年中、年長児がボールを投げて遊べるようにしてほしい」との意見を受け、ボールを準備。活動スペースを確保した。	年中、年長児の保護者からは、思いっきりボールを投げて遊べるようになり好評をいただいている。	令和6年2月
原町児童館 (のびすく宮城野) ※特定非営利活動法人 MIYAGI子どもネットワーク が運営	乳幼児保護者より「昼食時の飲食出来る場所が狭い」との意見を受け、混雑時間限定で別室での飲食を可能とした。	限定的ではあるが飲食場所が空くの待たずに、自分たちのタイミングで昼食をとれるため、利用者に喜ばれている。	令和6年3月

接遇等市民サービスの改善の成果の事例

【こども若者局】

施設名	改善項目	改善の成果	実施時期
鹿野児童館 ※特定非営利活動法人 MIYAGI子どもネットワーク が運営	利用者アンケートでいただいた意見を反映し、各行事の申込開始日を館だよりの発行日で統一した。	小学生対象行事、幼児親子対象行事問わず申込の件数が増えた。	令和5年12月
鹿野児童館 ※特定非営利活動法人 MIYAGI子どもネットワーク が運営	利用者アンケートでいただいた意見を反映し、図書の本返却期限を1週間から2週間に変更した。	返却期限が伸びたことで気軽に借りやすくなり、貸し出しの件数が増えた。	令和5年12月
鹿野児童館 ※特定非営利活動法人 MIYAGI子どもネットワーク が運営	多胎児の親子への来館時の声かけやサポート(授乳の際の見守り、車への乗り降りのお手伝いなど)を意識的に実施した。	多胎児の親子の来館が増えた。	令和6年2月
鶴ヶ谷西児童館 ※(公財)仙台ひと・まち交 流財団が運営	・掲示物を見やすく・具体的にわかりやすいように努めた。 ・個人情報に配慮し、可能な限り活動の様子等も掲示した。	・来館者より絵図も入り、文字だけより温かみがあり、目を通したいという気持ちになったという言葉を受けた。 ・児童館での様子が写真等もあり、楽しみながら目を通すことができた。	通年
黒松児童館 ※(公財)仙台ひと・まち交 流財団が運営	児童館から離れた地域の集会所を借りて、乳幼児親子を対象に移動児童館を毎月1回実施した。	児童館に徒歩では来られない地域の乳幼児親子が集まり、親子の触れ合い活動を楽しんだほか、交流タイムでは育児の相談ごとなど気軽に話すことが出来てほっとしたとの声を頂いた。また児童館について知らせる良い機会にもなった。	令和5年5月から

接遇等市民サービスの改善の成果の事例

【こども若者局】

施設名	改善項目	改善の成果	実施時期
<p>黒松児童館 ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営</p>	<p>コロナ後の部屋ごとの使い方や過ごし方を大きな文字で見やすく、フリガナも付けて新しく作り直し、各部屋入口に掲示した。</p>	<p>子どもでも戸惑うことなく各部屋を使用することが出来た。職員も共通ルールを確認することが出来たので、子どもへの声かけが職員によって違うという事がなかった。</p>	<p>令和5年5月から</p>
<p>南光台東児童センター ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営</p>	<p>・子育て家庭支援事業「出張ルンルンたいむ」 本館の大規模改修工事に伴う小学校への仮移転中、乳幼児の自由来館が休止となり、地域の子育て家庭への継続した支援を目的として実施した。児童センターだよりを通じて予定日時をお知らせし、地域の公園を会場に乳幼児親子と職員が待ち合わせをする形で行った。</p>	<p>月1・2回の開催だったが、天候に恵まれ、落ち葉や雪を使った遊びなど、季節感を味わう活動も行った。毎回参加してくださる方もいらっしやうり、保護者同士の交流も図ることができた。活動が制限された中でも子育て家庭の支援が可能であることが分かり、今後も折を見て継続していく予定。</p> 	<p>令和5年9月 から令和6年3月</p>

接遇等市民サービスの改善の成果の事例

【こども若者局】

施設名	改善項目	改善の成果	実施時期
<p>将監児童センター ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営</p>	<p>利用者(乳幼児の保護者)より「女子トイレ個室内のベビーキープに子どもを座らせると子どもがドアの鍵に触ってしまうので、子どもの手が届かない所にも鍵があると良い」と意見をいただいたことをきっかけに検討し、既存の鍵の上部に新たに鍵を取り付けた。</p>	<p>子どもの手が届かない上部に鍵を設置したことにより、ベビーキープに子どもを座らせてもドアが開くことがなくなり、保護者が安心して乳幼児と一緒にトイレを使用できるようになった。</p> 	<p>令和6年3月</p>
<p>西中田児童館 ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営</p>	<p>長期休業中の午前中より小学生がたくさん利用しているが、乳幼児親子にも居場所をつくる。</p>	<p>具体的には、月曜日にプールを設定することによって、乳幼児に遊ばせる場所をつくることで、長期休業中であっても乳幼児親子が積極的に児童館を利用することにつながっている。</p>	<p>夏休み期間</p>